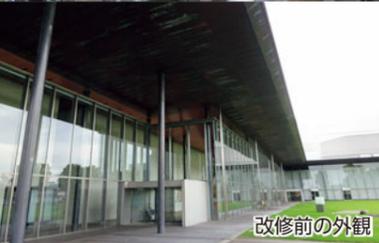




館内

空調設備



改修前の外観



改修後の外観

文化創造センター大規模改修事業(8億2,637万円)

開館から17年が経過したアールの安全対策、経年劣化に伴う工事を令和2年度までの2年にわたり実施しています(令和2年度予算は12億9,350万円)。10月1日からは音楽ロフトや演劇ロフトなど、一部施設の利用を開始します(劇場などは引き続き工事)。

■ 高齢者の安気づくり

高齢者生きがい推進事業(2,227万円)

あんきクラブ便りを2回発行し75歳以上の人へ配布しました。また、80歳以上の人のお宅(4,871人)に民生委員と協力して訪問し、日ごろの暮らしぶりなどを伺いました。



80歳以上の人のお宅を訪問

公共交通運営事業(1億4,572万円)

令和元年10月からさつきバスの起終点を可児駅に移行し、他の公共交通機関との連携を円滑にしました。また、Kバス用の車両2台を購入しました。

■ まちの安全づくり

災害対策経費(1,617万円)

避難行動要支援者名簿に新たに記載され、危険区域に居住する人を訪問し、避難方法などを説明しました。また、すぐメールかなどに加え、新たにオートコールサービスの運用を開始しました。

多文化共生事業(5,238万円)

庁舎窓口のフロア改修や翻訳機を導入するなど外国籍市民相談窓口の機能を拡充し、多文化共生のまちづくりを推進しました。

岐阜医療科学大学開設支援事業(17億8,200万円)

岐阜医療科学大学薬学部の開設に対する補助金を交付しました。



岐阜医療科学大学可児キャンパス(虹ヶ丘)

■ 子育て世代の安心づくり

子育て支援拠点運営事業(5,572万円)

子育てについて相談できる子育て支援センターなどの「地域子育て支援拠点」を8カ所に増やし、子育て家庭を支える体制を拡充しました。

市立保育園管理運営経費(2億7,394万円)

市立幼稚園管理運営経費(3,607万円)

私立保育園等保育促進事業(11億8,665万円)

私立幼稚園支援事業(3億3,004万円)

幼児教育・保育の無償化により保護者の経済的負担を軽減しました。また、めぐみ保育園では園児の増加に対応するための増築工事と調理室や未満児保育室などの改修工事を行いました。



増築しためぐみ保育園園舎

令和元年度 決算

問合せ 財政課

可児市総合計画の4つの重点方針「地域経済の元気づくり」「子育て世代の安心づくり」「高齢者の安気づくり」「まちの安全づくり」に基づき、さまざまな事業に取り組んできました。市の財政状況は類似団体や県内市町村と比較しても良好な状況を維持していますが、今後は少子高齢化の進展や新型コロナウイルス感染症の影響などで地方税収の大幅な増加は見込めません。しかし、依然

として社会保障費の増加が予測されています。さらに公共施設の修繕や更新などにも多大な費用が必要になります。こうした厳しさが増す財政状況の中でも「住みごこち一番・可児～安心、元気、楽しいまち～の推進」を実現するため、事業内容の見直しや国・県支出金の活用、ふるさと応援寄附金などの資金獲得に努め、将来世代に負担を先送りしないような財政運営を進めていきます。

■ 地域経済の元気づくり



麒麟がくる ぎふ可児 大河ドラマ館

大河ドラマ活用推進事業(1億7,040万円)

明智光秀博覧会の開催やブロンズ像の建立、明智城跡の整備、光秀生誕地のPRなど大河ドラマ活用をはじめとした観光施策を進めました。また、ふるさと応援寄附金では明智光秀関連で9,929万円(ふるさと応援寄附金全体は4億1,393万円)が寄せられました。



マ「麒麟がくる」初回放送パブリックビューイング



明智城跡展望台

可児わくわくWorkプロジェクト事業(527万円)

ワークライフバランスの実現などに取り組む市内企業を新たに15社登録し、さらに模範となる既登録企業2社と協定を締結しました。また「可児の企業魅力発見フェア2019」を行い、市内・近隣高校生などと地元企業の出会いの場を創出しました。



可児の企業魅力発見フェア2019

区画整理事業(3億3,455万円)

※可児駅東土地区画整理事業特別会計

可児駅東駅前広場の造成工事が終わったことで可児駅周辺の施設整備が完了しました。

可児御高IC隣接流通・工業団地開発事業

(4,685万円)

可児御高インターチェンジ工業団地の開発に向けて、現況測量、基本設計、家屋権利関係調査などを行いました。

市道56号線改良事業(4億9,202万円)

二野工業団地・周辺ICとのアクセス強化や産業振興、中心市街地の渋滞を緩和する道路として、平成24年度に着手し令和元年10月に開通しました。



市道56号線開通式(二野大森トンネルにて)

土田渡多目的広場整備事業(2億4,696万円)

木曾川の自然に親しむ交流拠点として、さまざまな利用ができる公園です。令和元年度は多目的広場やアクセス道路の整備工事を行いました。



土田渡多目的広場